

平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

大正小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年7月22日（水曜日）午後7時30分～9時

開催場所：大正コミュニティセンター

参加者数：33名（男性22名、女性11名）

市出席者：田中市長、原副市長、山本副市長、阪口病院事業管理者、野村水道事業管理者、中原教育長

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでのご意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 大正小学校区地域レポート
- ④ 市政運営方針（平成21年度）
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
<p>①-(1) 地区の当面の課題について</p> <p>○ 八尾空港西側跡地について、市の具体的な取り組みについて教えて欲しい。</p> <p>○ 地下鉄八尾南駅前 15号用地の今後の対応について説明して欲しい。また、若林水防センター建設とこれに関連して大正コミュニティセンター移転問題について具体的に説明して欲しい。</p>	<p>○ 大阪市・八尾市・都市再生機構（UR）の三者で昨年度に土地利用のあり方について検討し、今年3月に報告書をまとめました。一番の問題は事業主体や事業手法についてであり、今年5月には大阪航空局へ、6月には国土交通省へ私自身が行き、説明しました。また、大阪市とは大阪八尾両市行政協力協議会の中で議論しています。今後、大阪市長と協議し、国と大阪市、八尾市での協議の場を再度作っていくことを確認していきたいと考えています。</p> <p>○ 15号用地は今年と来年については、駐車場としての貸付契約を継続することになっています。大正コミュニティセンターの建替えについては、15号用地が良いのか、水防センターに併設するのが良いのかについて、昨年から地元と協議</p>	<p>○ 国は、平成 22 年度での一般競争入札による一括処分を予定しています。そのため、国に対して、まちづくりへの理解を求め、当該跡地のまちづくりに協力及び参画していただけるよう、土地活用方策についての案を示し、八尾、大阪両市のまちづくり目標に合致した処分方法への転換を促すため、調査・検討を実施し、本年3月に報告書をまとめたところであります。</p> <p>○ 周辺地域と調和の取れた新都市核の駅前にふさわしいまちの創出実現に向け、整備主体や、国・市それぞれの役割など、引き続き国に理解を求めています。</p> <p>○ 水防センター整備に向けた取り組みを進めていく必要がありますが、整備にあたっては、周辺の公共施設の老朽化、バリアフリー化対応、周辺環境や公共施設配置を視野に入れ、効率的・効果的な機能配置を行う必要があります。大和川若林地区防災拠点周辺の公共施設としては、大正コミュニティセンターがあり、同施設については、建築後約30年と老朽化も進み、耐震化、バリアフ</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
<p>○ 地下鉄八尾南駅南側正面のエレベーター設置については、22年度の設置と聞いているので実現していただきたい。</p> <p>①- (2) 生活保護基準について</p> <p>○ 福祉について、不満を持っています。生活保護の基準はどうなっているのですか。基準を正確にチェックし、生活保護が悪用されないようにするべきだと思います。</p> <p>①- (3) 公園愛護ボランティアについて</p> <p>○ 公園の清掃について、年に数回実施していますが、ボランティアで行っているのですから</p>	<p>していますが、結論を出していきたいと考えています。また、大和川河川事務所に対し、水生生物が観察できるワンドの整備をお願いしており、水防センターが、地域の環境学習の場になるようにしたいと考えています。</p> <p>○ 今回補正予算を計上しましたので、順次設計等進めていきます。</p> <p>○ 市民の皆さんが不審に思われないように、実態調査は府下でも厳しくらいやっています。皆さんとの連携や民生委員の方とも協力しながら、不正を許さない態度で取り組んでいきます。</p> <p>○ 公園の清掃に協力していただいている方にジュース1本でも出せるような仕</p>	<p>り化の面から機能更新が必要な施設となっています。若林水防センターについては、地域コミュニティ施設としての利用も計画していることから、整備にあたっては、大正コミュニティセンターの移転、一体整備も含めた整備について、地元住民との協議、意見交換を進めていきます。</p> <p>○ 地下鉄八尾南駅南側へのエレベーター設置に向けて、現在、大阪市交通局など関係機関と調整を進めており、出来る限り早期にご利用いただけるよう努めております。</p> <p>○ 生活保護制度は、最低限度の生活保障と自立助長を目的として、その基準は国（厚生労働省）において定められております。</p> <p>今後も、関係機関等への調査をきめ細かく行うとともに、実態を的確に把握し、保護の適正実施に努めてまいります。</p> <p>○ 現在、愛護会活動に必要な道具の貸与、ゴミ袋や清掃道具などは、市からの現物支給で対応しており今後も続け</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
<p>その活動に温かみが欲しいと思います。町会の経費からジュースを出していますが、その程度の費用を市の方で援助してもらえませんか。市が直接実施すれば金がかかるがボランティアは無償でやっています。</p>	<p>組みづくりを原課とも協議し提案も出てきています。この問題については、再度考えていきたいと思っています。</p>	<p>ていきたいと思っています。</p>
<p>② 大正川について</p> <p>○ 大正川は汚れています。汚水が流され臭いがする。恩智川のように鯉が泳ぐような川にしたいと思うが、市の計画はあるのですか。もしないのなら、来年、自分たちで綺麗にしたいと考えています。</p>	<p>○ 大正川の改修などの計画はなかったと思います。地域の方が力を貸していただけるなら、市と一緒に綺麗にするしくみづくりを考えていきたいと思いません。</p>	<p>○ 大正川については、工場や家庭からの排水が主な流入源であるため、水量も少なく、水質も良くはありません。今後、関係機関と協力しながら水質の改善に向け啓発を行っていきます。</p> <p>○ 大正川は、東端の一部を除いて改修済みです。汚水の流入については、下水道の進捗により汚水や臭いは減少していくと考えております。地域の方が力を貸していただけるなら、そのしくみづくりを考えていきたいと思いません。</p>
<p>③ 認知症予防について</p> <p>○ 高齢化に伴い認知症が大きな問題となってくると思っています。コミュニティセンターで活動を続けることが認知症予防になっていることも多いと思います。コミュニティセンター建替えに際してはバリアフリー対策をしっかりと</p>	<p>○ 認知症については、市政運営方針の 12 ページにも記載しております。コミセン講座が認知症予防につながっていることもあるので、コミセン講座のあり方についても議論し、多くの人に継続して受</p>	<p>○ コミセン講座活動以外にも、認知症の症状や予防のための取り組みを学ぶための教室を実施しています。その他、高齢クラブ活動への支援や高齢者ふれあい農園などの生きがいがづくり施策を通じて、仲間づくりや健康維持につなげていただくなど、今後も様々な事業を通じて、</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
して下さい。	講してもらえよう考えてまいります。コミュニティセンターのバリアフリーについて、市内でバリアフリーができているのは山本コミュニティセンターくらいであり、これからもバリアフリー化は進めていきたいと考えています。	高齢者の健康維持増進を図ってまいります。 ○ 施設利用者が安全に安心して利用できるよう、大正コミュニティセンター建替えにあたっては、バリアフリーの視点からも十分に協議してまいります。
<p>④- (1) 市立病院について</p> <p>○ 病院経営については総費用の 50% 以下の人件費なら健全経営になると言われています。病院の評判は口コミで広がるが、市立病院の評判が八尾の南部には伝わってきません。また診療科も、何科が良いのか評判が伝わってきません。</p>	<p>○ 今年 4 月から公営企業法の全部適用に変更しました。経営に責任を持たすため、新たに病院事業管理者も選任し、病院の立て直しを図っています。昨年度には 3 年間の経営改善計画を策定しました。出来るところから取り組み、順調に改善は進んでいます。病床利用率も今年 3 月には開院以来最高の 94% 台を記録しました。また、経費については、PFI 事業が 5 年目に当たるので、モニタリング調査を行い支出における適正をチェックしたいと考えています。人件費については現在約 56% になっていますが、医師確保が難しいので報酬につい</p>	<p>○ 市立病院の経営は、国による社会保障費の削減、全国的な医師不足を背景に、非常に厳しい状況にあります。一方では、小児医療、周産期医療、救急医療をはじめ、がんなどの高度医療を必要とする疾患などについては、一般的に不採算医療分野であることから、民間病院だけでは十分に市民の医療ニーズに対応できない実態があります。</p> <p>このため、市立病院としては、市民の安全・安心・生命と健康を守る見地から、これらの不採算医療分野において、中心的な役割を担っているところであります。</p> <p>しかしながら、今後も市民の皆様の健康を守る上で、早急に経営の健全化を図り、病院経営の持続可能性を高めていくことが喫緊の課題であると認識しております。このため、本年 2 月に策定しました「八尾市立病院改革</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
<p>○ この地域からバスで病院に行くためには、バスを使う。JR久宝寺駅と地下鉄八尾南駅が結ばれたが、太田や沼方面からは八尾南駅で乗り継ぎのため、料金が倍以上かかる。現在の沼循環バスと一本化で走らすことはできませんか。</p> <p>④- (2) 八尾空港西側跡地について</p> <p>○ 八尾空港西側跡地の問題で、衆院選挙で政権交代になれば、一括売却の方針変わるのですか。もし政権が代われば跡地活用として多目</p>	<p>でも変更し、出来高制も取り入れドクターのやる気を促すしくみにしました。今年の4月からはがん指定の病院になり、全国名医100選にも入っているドクターがいます。</p> <p>○ バスについては、近鉄バスが4月から、地下鉄八尾南駅から運行していますが、昼間利用が特に少ないようです。沼あたりまで循環できれば新たな展開も図れると思われしますので、近鉄バスとも議論していきたいと考えています。</p> <p>○ 国では不要な土地は売却するという閣議決定のもとに進められています。また、売却に関しては財務省への了解を取</p>	<p>プラン」に基づき、取り組みを進めているところで、将来にわたり公立病院として市民の負託に応えることができるよう、健全な病院経営に努めてまいります。</p> <p>また、市立病院はこれまでの診療実績や診療機能等の審査を踏まえ、平成21年3月31日に大阪府から「大阪府がん診療拠点病院」に指定（指定期間：平成21年4月1日から平成25年3月31日）されました。今後も、診療機能の充実を図るとともに、その周知に努めてまいります。</p> <p>○ 市内全体の交通体系を検討しており、その中で近鉄バスとも市内路線ネットワークの見直しを要望しております。近鉄バスの新路線と沼循環との一本化についても要望しておりますが、何よりも市民の皆様への路線をご利用いただくことが重要であると考えています。</p> <p>○ 周辺地域と調和の取れた新都市核の駅前にふさわしいまちの創出実現に向け、引き続き国に理解を求めていきます。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
的に使えるようにしてもらいたい。	り付けるとい課題があります。多目的利用については、八尾市としてどういうまちを作るのかを明確にし、大阪市とも協議するとともに、道路などの整備をしたいと考えています。	
<p>⑤ 大正川北側通路について</p> <p>○ 大正川の北側の通路は、子どもたちが通学路として利用していますが、そこを自動車がかかなりのスピードで通過します。また駐車車両も多いので対応してもらえないですか。</p>	<p>○ 大阪外環状線の手前などは整備されておりませんし、北側については駐車車両が多いという認識もしています。整備のあり方については、今後検討していきたいと考えています。</p>	<p>○ 駐車車両の対策も含め、地域・八尾警察署とともにそれらの対策について検討していきたいと考えております。</p>
<p>⑥- (1) 近鉄バスについて</p> <p>○ 今年 4 月から地下鉄八尾南駅と JR 久宝寺駅間で運行されています。また、近鉄八尾駅から JR 久宝寺駅までも運行されています。どちらも廃止して現在の近鉄藤井寺駅から近鉄八尾駅行きバスの本数を増やすか、1 時間に 2 本ぐらい経路を変え、JR 久宝寺駅まわりにすればよいのではないですか。また、沼循環バスについても沼・太田方面からは八尾南駅で乗り継ぎ券を渡せば二重払いは解決する</p>	<p>○ 近鉄バスについては市全体のバス体系について議論しています。近鉄バスとも協議しながら対応していきたいと思っています。</p>	<p>○ 市内全体の交通体系を検討しており、その中で近鉄バスとも市内路線ネットワークの見直しを要望しております。近鉄バスの新路線との一本化についても要望しておりますが、何よりも市民の皆様にご利用いただくことが重要であると考えております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
<p>と思うので、市から近鉄バスへ申し入れしてはどうか。</p> <p>⑥- (2) 大和川について</p> <p>○ 大和川の水質が少しは良くなってきていますが、上流の奈良県へ大阪府から強力に申し入れしてもらい、下水の整備と工場廃水の指導をしてもらったらどうでしょうか。</p>	<p>○ 大和川の水質は非常に上がってきており、全国ワースト 1 から 4 くらいになってきています。水質もきれいになり、BOD や浮遊物の数値も下がっています。ごみについても大和川クリーン作戦開始当初に比べ格段に減ってきています。上流も下流も協力して今後も取り組んでいきたいと考えています。</p>	<p>○ 高度成長の頃は、大和川の汚染度を示す BOD 値は 30 くらいでしたが、平成 19 年は 4.7 で、著しい改善がみられ、これまでも何度か全国ワースト 1 を免れていますが、平成 19 年は残念ながらワースト 1 でした。現在、大和川の再生を目指し、平成 18 年 9 月に策定された「C プロジェクト計画」に基づき、国土交通省・大阪府・奈良県・流域 38 市町村が協働し、様々な活動を行っております。このなかで、関係自治体が下水道の積極的な整備を推進し、また工場排水についても、瀬戸内海法・水質汚濁防止法及び府県条例に基づき、大阪府及び奈良県等により立入り検査等の指導が行われています。また、各地でクリーンキャンペーンが実施され、成果があげられています。</p> <p>○ 大和川の水質については、奈良県と大阪府における関係市町村が手をつなぎ大和川水環境協議会を設立し、広域的に取り組んでおります。</p> <p>今後も、関係機関と協力しながら水質の改善に向け取</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
		り組んでいきます。
<p>⑦- (1) 大正川北側通路整備について</p> <p>○ 太田橋交差点から北側の大正川左岸（西側）では、歩道を整備する際に茶色で塗装し、色分けしている。上流の右岸（北側）通路も整備するにあたり、色分けすれば歩道として区別できると思うので検討して欲しい。</p> <p>⑦- (2) 信号機の設置について</p> <p>○ 太田新町地区内の東西幹線道路に、信号機の設置をしてほしい。工場街の道路であったが、住宅も増えており、危ない。これまでも要望はしているが道幅が狭く幅員がないので作れないと言われていました。設置に向けて強く要望したいと思います。</p>	<p>○ 川をきれいにすること、安心して通れる道路整備など、このような課題を解決するために地域別計画があると思います。色々意見を出してもらい、市と一緒に計画を作っていききたいと考えています。</p> <p>○ 信号は大阪府警が担当しています。設置にあたっては幅員や人だまりなど基準がありますので、皆さんと一緒に考えていければと考えています。</p>	<p>○ 駐車車両の対策も含め、地域・八尾警察署とともにそれらの対策について検討していきたいと考えております。</p> <p>○ 要望の信号機については、八尾警察署を通じて大阪府公安委員会へ要望しております。しかし、信号機設置に向けた条件である歩行者の待機場所の確保など、依然として課題があり具体化に至っておりません。よって歩行者の待機場所の確保に向けた沿道権利者の協力が得られるよう引き続き地区のご協力をお願いします。</p>
<p>⑧ 子育て支援事業について</p> <p>○ 大正地区民生委員児童委員会では、子育て支援として、はとぽっぽ大正を実施している。市中心部（みらい・ファミリーサポートセンター）から遠いため、参加人数が多い。また、</p>	<p>○ 子育て支援については、子どもの未来支援ということで今後も力を入れ、子どもたちに切れ目のない支援・教育を与えていききたいと考えております。現在、小中</p>	<p>○ 本市では、在宅で子育てしている家庭への支援策として、乳幼児とその保護者が気軽につどい、交流できる場を提供する「つどいの広場」や、子育て相談やサポートを行う「みらい」、地域での子育て支援の拠点となる「地</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 ＜平成 21 年 8 月現在＞
<p>地下鉄八尾南駅前のつどいの広場の利用者も多いと聞く。あるいは、地域子育て支援センターが行っている木の本公園での公園で遊ぶ会や防災拠点での運動会への参加も多い。地域子育て支援センター事業をなくさず今後も続けて下さい。</p>	<p>学校適正規模のあり方や児童福祉審議会、幼稚園審議会を開催しており、パブリックコメントでの意見もいただきたいと思います。はとぼっぼ、つどいの広場、地域子育て支援センターと色々なメニューがあり、子どもたちにとって有意義なものであるが、利用者には分かりにくいところもあり、体系的に利用者に分かりやすく、利用しやすくしていきたいと考えています。</p>	<p>域子育て支援センター」など、様々な事業展開に取り組んでいます。</p> <p>一方、地域における取り組みとして民生委員児童委員会などが実施主体となる子育て広場「はとぼっぼ」などがあります。</p> <p>これらの様々な子育て支援策について、利用者にとってわかりやすい適切な情報提供を行うため、現在、事業の整理・体系化に取り組んでおりますが、その中で、地域子育て支援センター事業の方向性についても検討してまいります。</p>